５．防災意識改革と防災教育の推進

（幹事機関：三重県）
（副幹事機関：中部地方整備局）

「中部圏としての取組方針」

大規模災害から被害を最小限にするため、自らの身の安全は自ら守る「自助」、自らの地域は皆で守る「共助」を基本に、地域性を踏まえ防災意識改革と防災教育の推進に関する検討などを行う。

「中部圏としての取組方針」策定

平成２４年度に「防災意識改革と防災教育の推進に関する検討会」にて、中部圏（長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）の防災部局及び教育部局が主体として取り組むべき共通の課題を整理し、取組方針を策定。

A．防災リーダーの育成

課題1：防災業務に直結する防災リーダー育成の充実

1-1 防災リーダーになるべき人の育成に力点を置いた取組の実施（短期）
1-2 防災リーダーの育成・フォローアップ（スキルアップ）に関する教育内容等を情報共有（短期）
1-3 各県で共通利用可能な教材を整備（長期）
1-4 各県の取組を財政的に支援するような働きかけを戦略会議に対し提言（長期）

課題2：防災リーダーの活動に関する情報共有・連携

2-1 防災リーダーについてリスト化し、情報共有（短期）
2-2 防災リーダーの活動状況を情報共有（短期）
2-3 県・地域間で防災リーダーを相互活用（短期）
2-4 各県の防災リーダー会同士の連携強化（長期）

課題3：若い世代の参加促進

3-1 講座内容等、取組を情報共有（短期）
3-2 子供が親になるまでの20年を一区切りとした継続的教育を実施（長期）
3-3 より幅広い世代に講座を拡大（長期）

B．地域の防災活動・防災教育の充実

課題4：地域の災害特性を理解するための取組の充実

4-1 地域の防災教育の内容を情報共有（短期）
4-2 まち歩きなど体験型の活動を促進（短期）
4-3 住民が自分で学習できる仕組み、より分かりやすい教育ツールの開発・展開（長期）
4-4 過去の被災記録等を活用した注意喚起用の説明板等の設置補助の働きかけ（長期）

課題5：地域と連携した実践的な取組の促進

5-1 取組内容の情報共有（短期）
5-2 被災地での経験を生かした地域連携の強化（短期）
5-3 地域と連携した防災訓練、講演会などの充実化（長期）
5-4 補助金制度の継続、被災地派遣に関する費用補助支援についての働きかけ（長期）

課題6：今後10年※の間で活用できる防災教育に関する手引きの充実

6-1 防災教育の手引き、教材等を情報共有（短期）
6-2 教職員への研修内容・教材の共通化（長期）

※：学習指導要領が平成23年度から改訂され、10年間は不変

C．被災記録の活用

課題7：県内の被災記録の整理・集約化

7-1 被災記録の収集状況・提供状況を情報共有（短期）

課題8：過去の災害から得られる教訓の活用

8-1 災害の伝承方法、風化させない取組の情報共有　（短期）
8-2 防災リーダー、教員等に対する研修の場での活用　（長期）
（被災記録、災害の教訓を教材化）

「担当者会議」の開催

「中部圏としての取組方針」の推進を図るため、定期的（年２回程度）に中部５県の担当者（防災部局・教育部局）による情報共有及び意見交換を実施。

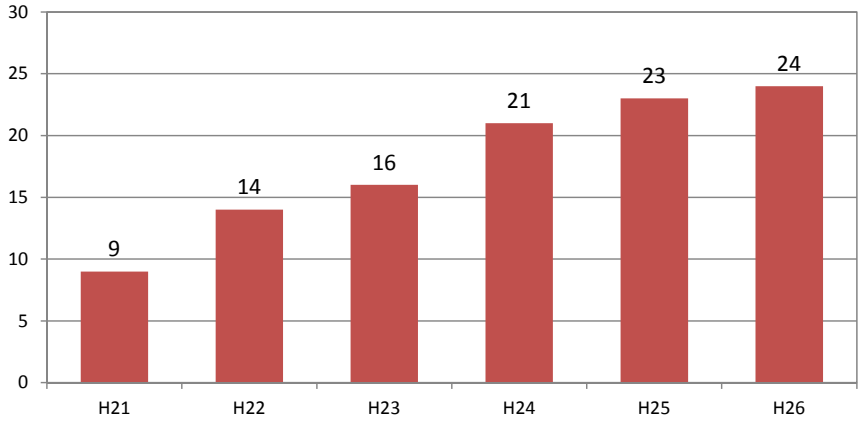
■担当者会議の開催

開催時期	主　な　内　容
H25.4.25	●中部圏取組方針の確認 ●各県の取組内容の情報共有
H26.2.3	●各県の取組内容の情報共有 ●防災教育に関するアンケート調査報告 対象：中部5県管内の市町村及び公立小中学校
H26.5.15	●各県の取組内容の情報共有 ● 重点テーマに関する意見交換 【課題1;防災業務に直結する防災リーダー育成の充実】
H26.12.4	●各県の取組内容の情報共有 ● 重点テーマに関する意見交換 【課題2;防災リーダーの活動に関する情報共有・連携】 ●『防災リーダ育成に関する講座（研修）の取組状況

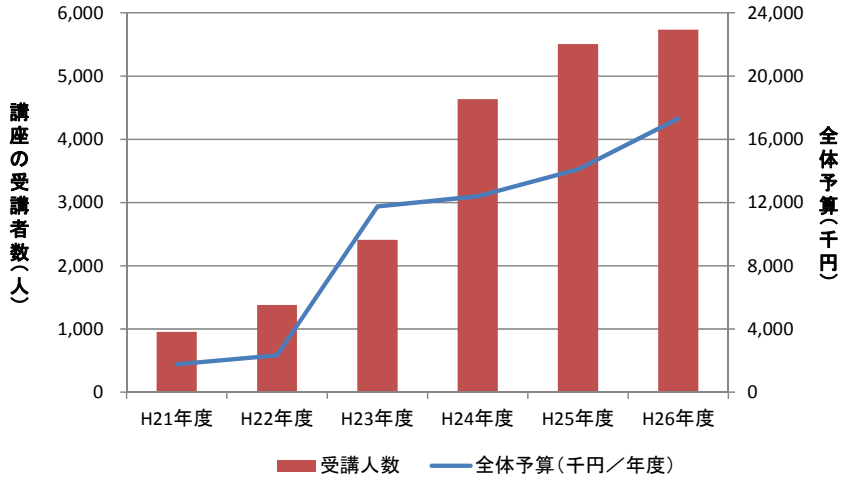
防災リーダー育成に関する取組状況

○防災リーダー育成に関する講座数は年々増加
○開催される講座の対象も行政や企業、学生など、さまざまな対象への専門的な特徴を持った講座が開催されている。
○講座開催の増加と比例して、費用も増加しており、継続的、安定的に防災リーダーを育成していくためには、継続した予算確保が必要。

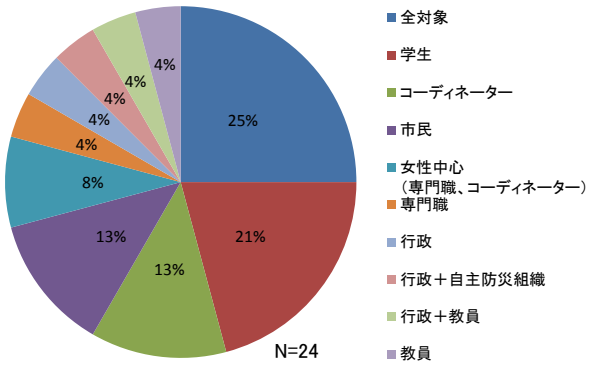
中部5県の主な防災リーダ養成講座数



防災リーダー育成講座の受講者数及び予算の推移



防災リーダー養成講座の対象（H26）



三重県の取組状況

三重県･三重大学　みえ防災･減災センターの設立

協定の締結

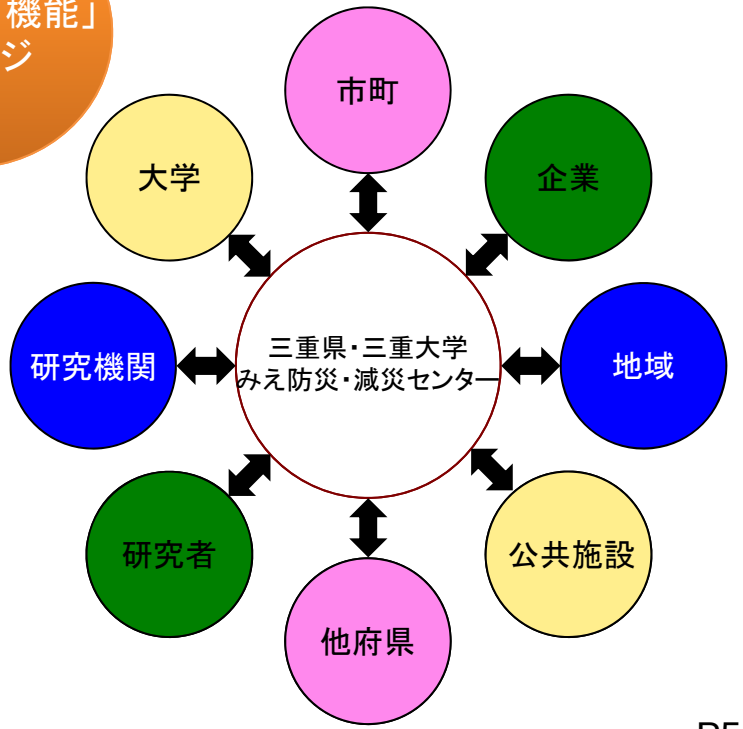
平成26年4月1日「三重県・三重大学　みえ防災・減災センター設置に関する協定」を締結

設置の目的

三重県と三重大学が相互に連携・協力し、防災に関する人材育成・活用、地域・企業支援、情報収集・啓発、調査・研究等に取り組み、三重県における地域防災力の向上に資する。

連携･参画
イメージ

「防災ハブ機能」
イメージ



三重県の取組状況

人材育成・活用分野　1）主な人材育成事業

（1）3つの人材育成コース

・平成25年度まで実施してきた以下の2つの教育カリキュラムを一本化し、実践で役立つ知識と手法の習得を重視して新たな教育カリキュラムとして再編成

「みえ防災コーディネーター育成講座」＋「美し国おこし・三重さきもり塾」

①みえ防災さきもりコース　← 美し国おこし・三重さきもり塾（特別課程）
②みえ防災コーディネーターコース　← みえ防災コーディネーター育成講座
③みえ防災聴講コース　← 美し国おこし・三重さきもり塾（入門コース）

・三重大学大学院工学研究科の7つの授業科目を受講

「3つの人材育成コース」の授業実施は、三重大学「みえ防災塾」が担当

地域防災学総論I	地域防災学総論II	さきもり特別研究	
防災実践特論	防災実践演習	防災計画特論	防災計画演習

地域防災学総論I　講義

地域防災学総論I　ディスカッション

さきもり特別研究　グループゼミ

防災実践演習　災害図上訓練

防災計画演習　防災計画立案

防災計画演習　地震対策の計画

（2）専門講座

・平成25年度から開設している専門講座を発展させ、期間限定の集中講座として実施
・女性を主な対象とした防災講座として教育カリキュラムを編成
・新たに市町防災担当職員対象の防災講座を開設

①女性を中心とした専門職防災研修（医療・看護　保健・福祉・介護　教育・保育）
②（女性限定）みえ防災コーディネーター育成講座
③市町防災担当職員を対象とした防災講座（初動期）
④女性を中心とした自主防災リーダー人材育成講座

女性を中心とした専門職防災研修（医療・看護　保健・福祉・介護　教育・保育）

（女性限定）みえ防災コーディネーター育成講座

市町防災担当職員を対象とした防災講座（初動期）

（3）学校防災リーダー養成研修

・小中学校及び県立学校の教職員を対象
・「美し国三重のさきもり・さきもり補」と「みえ防災コーディネーター」の協力による事業実施
・小中学校及び県立学校の教職員を対象とした、体験型防災学習「防災タウンウォチング」を実施

体験型防災学習「防災タウンウォチング」

美し国三重のさきもり・さきもり補、みえ防災コーディネーターによる支援

三重県の取組状況

人材育成・活用分野　2）活用事業

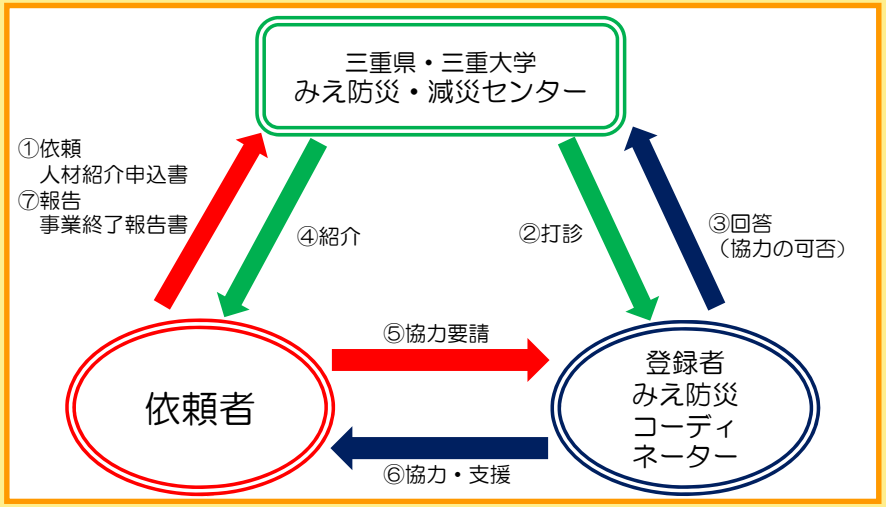
（4）みえ防災人材バンク

三重県と三重大学では、平成16年度から「みえ防災コーディネーター」の育成を行ってきており、これまでに約600名の方がコーディネーターに認定されてきました。

この度、みえ防災・減災センターでは、コーディネーターの方にその知識や技能を充分に発揮していただき、更なる防災・減災活動に活発に取り組んでいただくための仕組みとして、「みえ防災人材バンク」を新たに創設しました。

「みえ防災人材バンク」は、センターにおいて、県、市町、企業、地域などからの防災活動に関する協力・支援の依頼を受け、「みえ防災人材バンク」に登録されたコーディネーターに紹介し、マッチングをすることで、コーディネーターの方には活動の場の提供を行うとともに、依頼者に対しては防災・減災活動の支援を図ることで、三重県における防災・減災力の向上をめざします。

みえ防災人材バンク紹介の流れ



（5）「美し国おこし・三重さきもり塾」修了生への支援事例

・「美し国おこし・三重さきもり塾」を修了した塾生有志が、「美し国おこし・三重さきもり倶楽部」を設立し、情報の共有を図っています。この中で、機関誌の発行を「みえ防災・減災センター」が支援しており、直近の刊行物を紹介します。

・みえ防災・減災センターでは、「美し国おこし・三重さきもり塾」の修了生を対象に、能力の維持向上のため、毎年「勉強会」の開催を支援しています。
今年度は、「水害・土砂災害のメカニズムと対策」をテーマに勉強会を開催します。
日時：平成26年11月30日（日）　09：50～12：10
会場：三重大学・工学部15番教室
講演：「近年の風水害について」
三重大学大学院生物資源学研究科　葛葉泰久　教授
「土砂災害と対策」
三重大学大学院生物資源学研究科　山田　孝　教授

（6）みえ防災コーディネーター連絡会の活動

・みえ防災コーディネーター連絡会は、みえ防災コーディネーターが、地域密着型の防災活動を展開するために平成23年2月組織された団体で、会員相互の意思疎通と交流、スキルアップ研修による知識・技能の向上を図っています。

定期総会の様子

・今年度は、次のような活動を実施することとしています。
（1）センターが実施する「みえ防災コーディネーター」等の人材育成講座や、人材活用等を積極的に支援し、参画します。
（2）三重県総合防災訓練や、シンポジウム等への支援とともに地域で実施される訓練等を指導します。
（3）役員会や三役会議を複数会（隔月で）開催し、活動の充実を図ります。
（4）各地域及び各会員の活動を把握するとともに、会報を年間3回程度発行し、情報の共有化を図ります。
（5）地域懇談会を開催し、市町や地域機関との連携を図ります。
（6）防災研修を実施し、会員相互の親睦、防災力向上の一助とします。